

2018 年度 自己評価 結果及び対策・改善報告書

評価項目	評価結果 及び 対策	改善結果（進捗状況）
I、組織体制について	2018 度に入り、実人数が増加したこともあり、使用スペースが適切ではないとの評価が多くあり。1 箇所での支援は、困難になってきていることもあり、発達段階によりグループ分けを行い支援方法・支援場所を検討しながら提供している。	発達レベルによるグループ分けでの支援と集団によるレクリエーションを取り入れた。児童にとってストレス少なく過ごせるよう週間計画書作成。更に、曜日ごとに検討をしている。
II、業務改善	昨年度から、保護者向け評価を実施し、ホームページに公表した。 職員の質の向上については、外部研修への参加。内部研修の実施。資格取得のための研修にも参加している。	質の向上については、2019 度に向けた研修計画を作成。個々のスキルアップとチームワークを強化していく。
III、適切な支援の提供	支援計画書は、更新時にモニタリング・アセスメントを行い、計画書の更新を行っている。また、それに伴う情報共有のための他事業との支援会議にも参加できている。 日々の受け入れに関しては、支援開始前に打ち合わせ実施し、職員の役割分担や注意事項等の共有を行っている。 日々の記録も徹底。	個別の適切な支援の提供に当たっては、更新・見直し期間満了の児童を中心に月 1 回の定例会議にて、職員全員で検討している。また、小さな気付きも見逃さないよう「気付きノート」を活用している。
IV、関係機関や保護者との連携	保護者への子どもの状況は、連絡ノートに記録し伝えている。 児童発達支援センターとの繋がりも出来てきており、就学前の情報や今後のサービス利用についての会議を定期的に行っている。 保護者へのペアレント・トレーニング支援として、今年度は 1 回しか開催できていない。	徐々に他関係機関との繋がりが出来てきている。放課後デイサービスでの現在の児童の姿だけでなく、就学前からの情報も重要な為、やり取りをさせていただいている。また、今後の方向性も視野に入れながらの事業展開をすることで、保護者の安心にも繋がっていくと思われる。

<p>V、保護者への説明責任等</p>	<p>保護者からの子育ての悩み等の相談には応じ、必要な助言は実施している。 父母会の開催も定期的実施し、保護者同士の関わりの機会を提供できている。 地域住民との関わる機会を、確保できていない。</p>	<p>必要時、相談等の支援は少しずつだが出来てきている。父母会の開催については、テーマを十分に吟味し、必要な情報等が保護者のプラスになるよう検討・開催していく。また、重要事項説明書の変更の際には、再度、全体の説明を実施し、より理解していただけるよう努めていく。</p>
<p>VI、非常時等の対応</p>	<p>緊急時対応マニュアルは、まだ検証できていないものがあり、不十分。今後の課題となる。 定期的な避難訓練は実施できている。 ヒヤリハットやインシデントは報告・対策を行っているが、危険予知に対する認識が薄い。勉強会等にてマネジメント力を付けていく必要がある。</p>	<p>緊急時の避難訓練については、併設サテライト特養との協働により実施で出来ているが保護者への周知が十分でないため、今後は「はなえみ便り」に掲載をしていく。想定されるリスクに備えた、マニュアル作りは今後も継続していく。</p>

(まとめ)

放課後等デイサービスの役割は、多様で複雑化していると感じる。そのようなニーズに対応できるよう少しずつ、足りない部分を補充しながら来年度に向けて、何をすべきかを明確にしていきたい。
 来年度は、それぞれが責任を持って支援・活動できるようにするため、職員一人一人の役割を明確にしてい